

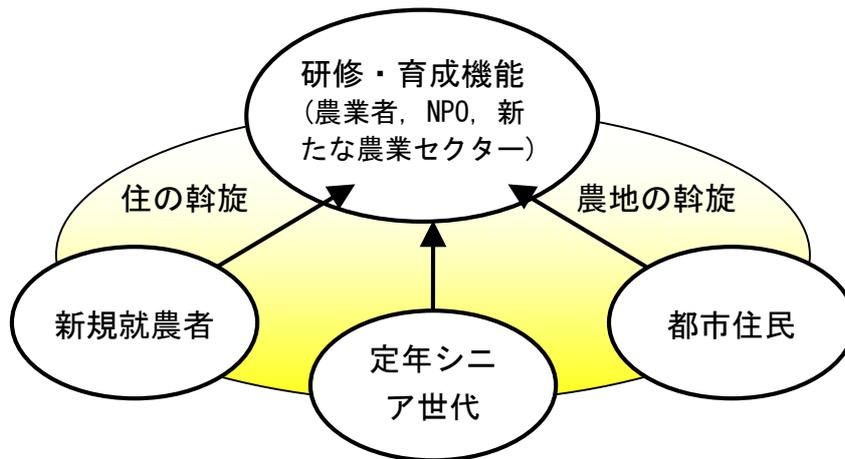
第5章 村民参加による計画の推進

5-1 新たな担い手育成に向けた村民全員参加型の組織づくり

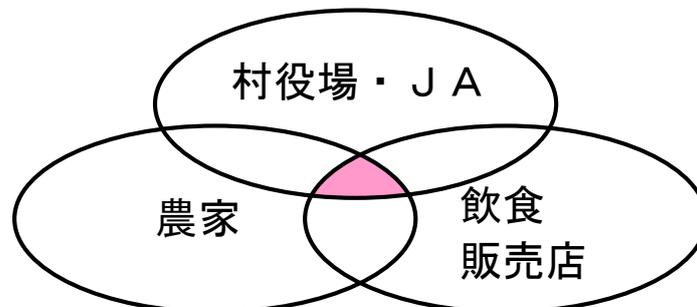
これまでに述べてきた東海村農業の将来構想の実現に向けては、村民全員参加型の組織づくりが必要です。例えば、定年シニア世代や新規就農者、都市的住民が農業に参画するためには、村内の農業者が指導的な役割を果たすことが、村民間の連携へとつながり、地産地消による都市近郊型農業へとつながることが期待できます。その土台となる組織づくりが求められます。

例えば、アクティブシニアや村内外からの若い新規就農者が農業に参画するには、村役場やJAのみならず、地元の農業者やNPO法人などが参加して研修・指導、斡旋を行う支援組織をつくる必要があります。また、地産地消の推進には、村内農産物の販売促進、コーディネート、イベント企画などを行うシンクタンク機能をもった協議会組織の設立も想定されます。

新たな担い手を育成する組織づくりのイメージ



シンクタンク機能をもった新たな協議会組織のイメージ



- 3者の共通の認識と連携のためのコーディネート機能
- 村内農産物の販売促進、コーディネート、イベント企画などを担うシンクタンク機能

5-2 計画の推進に向けた進行管理

農業振興計画の推進に向けては、第5次総合計画の趣旨を生かしつつ、後期計画との整合を図ります。

また、計画の推進に向けた進行管理を行うために、チェック機能とシンクタンク機能を備えた組織をつくる必要があります。本計画の目標年は平成37年度としていますが、本村を取り巻く営農環境や農業政策の状況は時間の経過とともに変化します。振興計画の進捗状況の把握のほかに、各種の状況の変化を踏まえ、必要に応じて本計画自体を見直します。

5-3 村民参加による意見交換（進行管理）

東海村では、農村振興計画の策定にあたり、策定委員会を設置するなど住民の意見を幅広く取り入れ、住民参加型による計画策定を行ってきました。計画の進行管理における進捗状況の確認の場面においても専門家、農業者、消費者が一体となって村民参加型の議論の場を設けていきます。その結果は、東海村公式ホームページ等で随時公表します。

進行管理における村民参加の取り組み

アンケート	地区座談会での意見交換	ワークショップの開催
<ul style="list-style-type: none">・農家アンケート・消費者アンケート	<ul style="list-style-type: none">・6地区ごとに農家、住民に参加を募集し、意見交換	<ul style="list-style-type: none">・農業者、消費者、専門家らによる意見交換



地区座談会の様子



策定委員会の様子